

地区方針

ガバナーエレクト 湯川 孝則

ともに語ろうロータリー 友達になろう

1. クラブ戦略計画の推進

戦略計画委員会を設置し、クラブ戦略計画策定を推進しましょう。

2. クラブ自主性の尊重

2016年4月の規定審議会の決定により、クラブに柔軟性が認められました。
各クラブが自主的に「変化をもたらす」アクションを始めましょう。

3. 会員増強とクラブ拡大の推進

① 会員増強

- ・地区全体で会員数純増100名を目標とします。
- ・クラブ目標は、クラブの自主性を尊重し、クラブが自主的に、そして積極的に会員増強目標を設定して下さい。

② クラブ拡大

- ・新しい形態のクラブ拡大にチャレンジしましょう。

4. ロータリー財団へのご理解とご寄付のお願い

目標 年次基金寄付 一人当たり 120 USD以上
恒久基金寄付 ベネファクター 各クラブ1名以上
(会員50名以上のクラブは2名以上)
ポリオへの寄付 一人当たり 50 USD以上

5. ロータリー米山記念奨学事業へのご理解とご寄付のお願い

目標 普通寄付 一人当たり 5,000円以上
特別寄付 一人当たり 20,000円以上
合計 一人当たり 25,000円以上

6. ロータリーの未来を担う人材の育成

青少年奉仕の様々なプログラムを通じて未来を担う人材を育成しましょう。

7. RI会長賞への積極的な挑戦

～ガバナーメッセージ

『変化をもたらすために、 ともに語ろうロータリー』



国際ロータリー第 2590 地区
ガバナー 湯川 孝 則

ロータリーの新しい年度を迎え、まず我ら国際ロータリー第 2590 地区の先輩・同僚・後輩の方々にご挨拶申し上げます。私、今年度のガバナーを拝命いたしました横浜西 RC 所属の湯川孝則であります。馬齢ばかり重ね浅学非才な私ではありますが、皆様と一緒に成ってこの大きな局面に来ております第 2590 地区の掘り起こしの為にも頑張る所存であります。宜しくご指導をお願いします。

イアン H.S. ライズリー RI 会長は今年度のテーマとして「ロータリー：変化をもたらす」を發表されました。これは昨年 2016 年 4 月の規定審議会にて大幅な柔軟性を認めた歴史的な採択事項を勘案したテーマです。私も共感をおぼえそのテーマに基づいて以下のテーマにしました。地区テーマは「ともに語ろうロータリー～友達になろう～」です。

「ともに」の「とも」は「共」と「友」です。RC の仲間同士で共にロータリーを熱く語ることに成って信頼と友情と自信が生じてくるし、また、ロータリアン以外の友達とロータリーを語ることで認知度の向上と理解を得ることが出来ます。

国際情勢も不透明な情勢ですし、我々ロータリーもある面では危険な曲がり角に来ていられるかもしれません。天下・国家を論じるのも必要ですが、自分の足元を見直し身近な問題を皆で取り組むことが必要です。

皆さんは本業に於いては立派な経営者であり、指導的立場の方々ですし、地域社会に於

いても良きリーダーですので、ご理解戴けると確信していますが、ロータリー活性化の為には会員増強が最も必要です。会員が増えれば多くのことが解決します。国内 34 地区の内、私たちの地区のみが芳しくない。社会に認知されたロータリークラブの活動は益々多方面にわたり必要とされ期待をされております。皆重要事項であることは承知しておりますが、20 数年間会員減少という非常時に於いては、会員増強を最重要項目にしたいです。その為にも私の出来ることは何でもするつもりです。地区の為に各クラブがあるのでは決してありません、各クラブの為に地区があるのです。

我々の第 2590 地区は 2 つの政令都市で比較的似かよってはいますが、個々のクラブに於いてはそれぞれの地域性もあり、その地域性を活かした、そして連携あるクラブ運営をして頂きたいと思ひます。

何処かの国の様に一糸乱れぬ行進よりも、例は良くないが、多足虫の如く個々の足がバラバラで動いているようで、実は目標に向けて進んでいます。私達は志を同じくした仲間です。個々の人格を尊重したロータリアンでありたいと思ひます。

たとえ小さな事でもそれぞれの方々達成感のあった年になればと願っております。

「変化をもたらす」を實踐することによって、各クラブと地区が一体となって活性化のスタートの年として意義あるより良い RC ライフをともに築き上げていきましょう。

～ガバナーメッセージ

「会員増強を図るために」

国際ロータリー第 2590 地区
ガバナー 湯川 孝 則



8月は「会員増強・拡大月間」です。この機会にロータリーの活動をもっと多くの人に知ってもらおうとともに、会員やクラブの重要性を考えてみたいと思います。国際ロータリー第2590地区の会員数は減少傾向にあり、この局面を打開するためには、それぞれのクラブが会員増強に取り組む必要があります。当地区には57のクラブがあります。それぞれのクラブで純増2名を達成できれば、地区全体で114名の会員増が達成できるのです。もちろん数を増やせばよいというものではありません。質を伴った増強が重要ですので、そのために何をしなければならぬのか、ともに語り合おうではありませんか。

なぜ、会員増強が必要なのでしょう。それは、自クラブのためであり、そして、自らのためであることを、はじめに確認しておきたいと思います。会員が増えるとクラブが活性化し、地域社会での奉仕の機会が増え、ロータリーの活動が楽しくなり、毎日の生活が充実してきます。会員増強は、RIのためでも、地区のためでも、ガバナーのためでもありません。多彩な職業人に出会う機会を作るのが会員増強です。入会しなければ、決して出会うことのなかった人との出会い、友情を深め、時に人生の師を得て、世のため人のために役立つ奉仕へとつなげ、人生を豊かにしていくことがロータリーの魅力ではないでしょうか。この魅力を高めることが会員増強につながるのです。単なる会員を増やすことが目的ではありません。ロータリーの魅力的な活動をとおして増強を行うのであり、数はその結果で

あると思います。

多くの人にとって、ロータリーへの主な入会理由は「地域社会への貢献」と「友情と親睦」を挙げています。そして、ロータリーにとどまり続ける理由も、この2つの要素がトップです。それならば、会員増強を図るためには、まず、第一にすべきことはクラブが地域社会に貢献することではないでしょうか。現在、あなたのクラブでは、地域社会にどのような貢献をしていますか。現在行っている社会奉仕活動や職業奉仕活動、青少年奉仕活動を見直してみてください。予算が少なくても、会員数が少なくても、地域の課題に取り組んでいることがクラブの魅力と価値を高めると思います。

そして、次にすべきことは、会員同士の友情と親睦を育むことです。自らがロータリアンになってよかったことを実感出来なければ、いずれ退会してしまうのではないのでしょうか。ロータリー活動を通して人生が豊かになることを実感できるようにするためには、会員の多様性を認め合い、会員のニーズをしっかりと把握し、その期待に応えることが重要です。好意と友情を深める奉仕プロジェクトの企画と実践、親睦を深めるイベントへの参加機会の増加など、地域に貢献していることを実感でき、仲間との友情を育むことのできるクラブづくりが、クラブの魅力を高め、結果として退会防止と会員増強につながるのではないのでしょうか。無理なくできるところから始めてみませんか。